# 研修機関が公表すべき情報の内訳

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 研修機関情報 | 法人情報☆ | 法人格・法人名称・住所 | ☆リンク先 | 法人格・法人名称・住所等<br>株式会社　日本教育クリエイト<br>東京都新宿区西新宿1-23-7　新宿ファーストウエスト<br>公式ホームページ　http://www.nk-create.co.jp | |
| | | 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 | | 代理者氏名、研修事業担当理事・取締役名<br>代表取締役　鳥居　敏<br>研修事業担当取締役　松本 義正 | |
| | | | | その他事業概要<br>人材派遣、紹介、委託事業、ダイビング事業、保育施設事業、美容事業を実施。 | |
| | 研修機関情報☆ | 事業所名称・住所 | 事業所名称 | 株式会社日本教育クリエイト<br>三幸福祉カレッジ長野事務局 | |
| | | | 住所 | 〒380-0921 長野県長野市栗田2135番地<br>大成コートワンビル2階 | |
| | | 理念 | 【経営理念】 | 技能教育と技能を生かす場を提供することにより、人と社会に貢献する。<br><br>21世紀は、知識が重要な価値を持つ、知識社会です。そこに生きる人々は、社会が求める知識、技能を身に付け、自己を向上させ、知識社会の中で自己実現をはかろうと努力しています。私達は、自己実現への一歩を歩み出したい方々に、精一杯の応援とお手伝いをさせて頂きたいと思います。 | |
| | | | 【教育理念】 | 技能と心の調和 | |
| | | 学則 | ☆リンク先 | 株式会社　日本教育クリエイト　公式ホームページ<br>http://www.nk-create.co.jp | |
| | | 研修施設、設備 | ☆リンク先 | 株式会社　日本教育クリエイト　公式ホームページ<br>http://www.nk-create.co.jp | |
| 研修事業情報 | 研修の概要 | 対象 | | 介護職員初任者研修における知識・技術を習得することを目的とする者<br>介護・福祉の仕事への就業を希望している者<br>募集人数　16名 | |
| | | 研修スケジュール | | 研修スケジュール（別紙2-1参照） | |
| | | 研修受講までの流れ<br>（募集、申込） | | （A）案内書に同封の受講申込書を郵送またはファックスにて申し込みを行う。<br>→事前に通学講習の希望会場・希望日程の空き状況の確認を行うことも可能。<br>（B）申込書の郵送又はファックスをもとに、受講受け入れ可能者に対して以下の２点を送付。<br>①教材<br>②受講料振込案内（受講の手引き）<br>（8日以内に教材返却の場合は申込解除とし、クーリングオフができる）<br>また、定員以上に達した場合は、受講条件を満たす申込者のうち先着順にて受講していただく。<br>（C）振込確認をもって受講手続きを完了とする。 | |
| | | 費用 | | 【全納パターン】<br>受講料(テキスト代込・税別)　45,000円<br>（納付期限）受講申込確認書到着後10日以内<br>※事業者特別推薦申込者については別途個別に定める。<br>※分納はカード決済のみ適応とする。<br>※飯山市教室については委託事業のためテキスト代6,477円(税別)のみ徴収 | |
| | | 留意事項、特徴、受講者へメッセージ | | 受講にあたっての留意事項は以下のとおりです。<br><br>三幸福祉カレッジ介護職員初任者研修においては講義演習一体型の実践に役立つ講義を行います。<br>介護をしっかり学びたい皆さまの積極的なご参加をお待ちしてます。<br><br>【持ち物】<br>（全日程）エプロン、筆記用具、受講手引き、受講証、テキスト<br>（実技）上記＋該当講義使用物品<br><br>【出席の取扱いについて】<br>理由の如何にかかわらず、研修開始時刻に遅刻した場合は欠席。<br>ただし、初日のみ証明書類不要で、講義開始から10分まで入室可<br>2日目以降は、公共機関の遅延証明書提出をもって講義開始から10分まで入室可<br><br>やむを得ず欠席する場合は必ず同科目の振替受講を受けることにより、科目履修完了とする。<br>振替の申し出は事務局へ連絡することを原則とする。<br>振替受講に係る受講料は無料とする。<br><br>【退校処分の取扱いについて】<br>次の条項の一に該当する者は、受講を取消すことができる。<br>(1) 意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者<br>(2) 学習研修の秩序を乱し、その他の受講生としての本分に反した者<br>(3) 当社の定める受講料支払規定に反する者<br>(4) 当研修をとおして介護職員としての資質に著しく欠ける者 | |
| | | | | 【施行細則】<br>この学則に必要な細則並びに、この学則に定めのない事項で必要があると認められる時は、当社がこれを定める。 | |
| | | | | 【研修責任者名・役職】<br>支社長　福間 真理子 | |
| | 研修カリキュラム | 科目別シラバス | 1. 職務の理解 | ①多様なサービスの理解 | 介護の社会化と尊厳の維持<br>多様なサービスの概要<br>キャリアパスと介護職員初任者研修、学習の継続 |
| | | | | ②介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 介護職の仕事<br>居宅、施設の多様な現場<br>サービス利用の一連の流れ<br>地域の社会資源との連携 |
| | | | 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 | ①人権と尊厳を支える介護 | 人間の尊厳の保持<br>人権擁護の基本視点<br>利用者の尊厳の保持 |
| | | | | ②自立に向けた介護 | 介護の基本視点<br>介護予防 |
| | | | 3. 介護の基本 | ①介護職の役割、専門性と他職種との連携 | 介護環境の特徴の理解<br>専門職としての介護の視点<br>他職種連携 |
| | | | | ②介護職の職業倫理 | 利用者、家族との関係 |
| | | | | ③介護における安全の確保とリスクマネジメント | サービス提供と安全管理体制<br>リスクマネジメント |
| | | | | ④介護職の安全 | 感染対策のための基本的知識<br>介護従事者の健康管理 |
| | | | 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | ①介護保険制度 | 介護保険制度の創設の背景及び目的、動向<br>介護保険制度の仕組みの基本的理解<br>制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 |
| | | | | ②医療との連携とリハビリテーション | 医行為と非医行為<br>医療・看護職とのチームケア<br>リハビリテーション職種との連携 |
| | | | | ③障害者総合支援制度およびその他の制度 | 障害者福祉制度の理念<br>障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解<br>個人の権利を守る制度の概念 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 研修事業情報 | 研修カリキュラム | 科目別シラバス | 5. 介護におけるコミュニケーション | ①介護におけるコミュニケーション | 介護におけるコミュニケーションの技法 |
| | | | | | 利用者・家族とのコミニケーションの実際 |
| | | | | | 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 |
| | | | | ②介護におけるチームのコミュニケーション | チームアプローチ |
| | | | | | 観察、記録、情報伝達 |
| | | | | | 演習 |
| | | | 6. 老化の理解 | ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 | 老年期の発達と心の変化 |
| | | | | | 老化に伴うからだの変化 |
| | | | | ②高齢者と健康 | 高齢者に多い病気の基礎知識 |
| | | | | | 高齢者に多い病気とその日常生活の留意点 |
| | | | 7. 認知症の理解 | ①認知症を取り巻く状況 | 認知症介護の基本原則 |
| | | | | | 最新の認知症ケア |
| | | | | ②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 認知症の基礎知識 |
| | | | | | 認知症の原因疾患 |
| | | | | | 中核症状と行動・心理症状 |
| | | | | ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 | 認知症に伴うこころとからだの変化 |
| | | | | | 認知症の人の対応 |
| | | | | ④家族への支援 | 認知症家族介護者の理解 |
| | | | | | 認知症をもつ人の声、そして家族の声 |
| | | | 8. 障害の理解 | ①障害の基礎的理解 | 障害の概念とICF |
| | | | | | 障害者福祉の基本理念 |
| | | | | ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 | 身体障害 |
| | | | | | 知的障害 |
| | | | | | 精神障害<br>難病（特定疾患） |
| | | | | ③家族の心理、かかわり支援の理解 | 家族への支援 |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 | ①介護の基本的な考え方 | 介護の基本的考え方 |
| | | | | ②介護に関するこころのしくみと基礎的理解 | 高齢者の心理 |
| | | | | | 自己実現と生きがいづくり |
| | | | | ③介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 人体各部の名称 |
| | | | | | 骨格・関節・筋の働き |
| | | | | | 中枢神経系・末梢神経系 |
| | | | | | バイタルチェック |
| | | | | | 運動動作に関する基礎知識 |
| | | | | ④生活と家事 | 家事支援の必要性と目的<br>信頼関係の構築と秘密保持<br>利用者に合わせた生活 |
| | | | | | 家事支援の介護技術 |
| | | | | ⑤快適な住環境整備と介護 | 住環境整備 |
| | | | | | 福祉用具の活用 |
| | | | | ⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 整容に関する基礎知識衣類着脱の介護 |
| | | | | | 日常着の着替え |
| | | | | | 和式寝まきの交換 |
| | | | | ⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 体位・姿勢の介護 |
| | | | | | 褥瘡の予防 |
| | | | | | 体位・姿勢の介護の実際 |
| | | | | | 移乗の介護 |
| | | | | | 移動の介護車椅子 |
| | | | | | 移動の介護歩行 |
| | | | | ⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 食事に関する基礎知識 |
| | | | | | 食事の介助 |
| | | | | | 口腔ケアの支援技術 |
| | | | | | 口腔ケアの支援技術 |
| | | | | | 健口体操 |
| | | | | ⑨入浴、清潔維持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 入浴・清潔保持に関する基礎知識 |
| | | | | | 蒸しタオルでの清拭フットケアの介護 |
| | | | | | 洗髪の介護 |
| | | | | ⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 排泄に関する基礎知識 |
| | | | | | 排泄の介護 |
| | | | | | 排泄の介護 |
| | | | | ⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 睡眠の意味と仕組み<br>睡眠の状態と睡眠障害の原因把握<br>安眠への支援 |
| | | | | | 寝具の整え方の持つ意味 |
| | | | | | 寝具の整え方の介護 |
| | | | | | ベッドの機能と取扱 |
| | | | | | シーツの扱い方 |
| | | | | | オープンベッド |
| | | | | | 臥床上のシーツ交換 |
| | | | | ⑫死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | 終末期ケアに関する基礎知識 |
| | | | | | 終末期ケア |
| | | | | | 家族へのケア |
| | | | | ⑬介護過程の基礎的理解 | 介護過程の目的と意義 |
| | | | | | 介護過程の展開 |
| | | | | | 介護過程とチームアプローチ |
| | | | | | 介護過程の展開 |
| | | | | | 介護過程の展開 |
| | | | | ⑭総合生活支援技術演習 | 演習2<br>要支援者への支援 |
| | | | | | 演習1<br>要介護者・家族介護者への支援 |
| | | | 11. 振返り | ①振返り | 振返り |
| | | | | ②就業への備えと研修終了後における継続的な研修 | 質の向上と人材育成 |
| | | 科目別担当教官名 | 1. 職務の理解 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 3. 介護の基本 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 檀原美恵、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、野中清美、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 5. 介護におけるコミュニケーション | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 研修事業情報 | 研修カリキュラム | 科目別担当教官名 | 6. 老化の理解 | 小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、堀内ひとみ、古岩井未来、石橋さやか | |
| | | | 7. 認知症の理解 | 小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、堀内ひとみ、古岩井未来、石橋さやか | |
| | | | 8. 障害の理解 | 小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、堀内ひとみ、古岩井未来、石橋さやか | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術<br>介護の基本的な考え方<br>介護に関するこころのしくみの基礎的理解<br>介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術<br>生活と家事<br>整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護<br>死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術<br>快適な居住環境整備と介護 | 檀原美恵、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、野中清美、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術<br>介護過程の基礎的理解 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術<br>総合生活支援技術演習 | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | | 11. 振返り | 檀原美恵、小坂あけ未、羽賀秀子、小林明美、藤田育美、大内三和子、桑原五樹、堀内ひとみ、古岩井未来、野中清美、石橋さやか、木村知子、草野直生、三澤好美 | |
| | | 科目別特徴 | 1. 職務の理解 | 講義・DVD視聴、担当講師の現場体験などを交え、介護職として働くイメージを深める。研修全体の流れや留意点などのオリエンテーションを行う。 | |
| | | | 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 | 講義・事例検討等を通して、自立支援・予防介護に関する理解を深める | |
| | | | 3. 介護の基本 | 講義を通して介護職としての心構え、留意点を学ぶ | |
| | | | 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 講義を通して必要となる法制度や専門知識への理解を深める | |
| | | | 5. 介護におけるコミュニケーション | 介護業務に携わる上で必要となるコミュニケーションを学ぶ | |
| | | | 6. 老化の理解 | 講義・資料等を通して老化が日常生活に与える影響を様々な視点で学ぶ | |
| | | | 7. 認知症の理解 | 講義を通して認知症について様々な視点から、しっかりと理解を深める | |
| | | | 8. 障害の理解 | 講義を通して障害に関する基礎知識を学ぶ。また家族への支援についても理解を深める | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 | 実技演習を中心に、講義・資料等を使いながら、様々な基本介護技術について理解を深めるとともに、実技体験を通して介護職としてだけでなく、利用者の立場についても理解を深める。 | |
| | | | 11. 振返り | 研修全体を通して身につけた知識・技術を自己評価によって再確認し、さらに講師からのフィードバックやアドバイスを行う。また就業やスキルアップについても理解を深める。 | |
| | | 実習 | 10. 実習 | 実習実施計画書（別紙6）参照 | |
| | （通信） | 科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 | 選択式問題 62問、記述式問題 9問 | | |
| | | | 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 | 7.5時間 | |
| | | | 3. 介護の基本 | 3時間 | |
| | | | 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | 7.5時間 | |
| | | | 5. 介護におけるコミュニケーション | 3時間 | |
| | | | 6. 老化の理解 | 3時間 | |
| | | | 7. 認知症の理解 | 3時間 | |
| | | | 8. 障害の理解 | 1.5時間 | |
| | | | 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 | 12時間 | |
| | | | **合計** | **40.5時間** | |
| | | 通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題 | ①開講日以降で全3課題のレポート提出を持参又は郵送<br>②評価は100点満点中70点を理解度に達する基準点とし、これに達しない場合は再提出<br>③受講生フォローとして<br>A、課題提出時に同封できる質問用紙の用意と解答の対応<br>B、課題採点返送時解説書の同封<br>C、スクーリング時の質問対応を行う。<br>（但し、この場合授業開始前並びに授業終了後、通信教育部分での質問があるものが演習担当講師の学科対応可能部分に対して理解度の向上のための質問に限ることとし、この限りにない場合はA及びBでの対応とする） | | |
| | 修了評価 | 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準 | （1）技術演習における習得度評価：評価は講義担当講師が実施。<br>（2）全科目の修了時に、1時間の筆記試験による修了評価を実施、評価者は最終日担当講師。<br>（3）通学のカリキュラムを全て出席し、通信添削課題が認定基準を超えており、<br>上記（1）及び（2）において認定基準を超えて尚且つ、現場実習の修了確認書にて確認された受講生に対し、修了証明書を発行する。 | | |
| 講師情報 | | （講師一覧参照） | （別紙3） | | |
| 実績情報 | | 過去の研修実施回数（年度ごと） | 長野県指定<br>【令和5年】一般講座 9回<br>【令和6年】一般講座 7回 | | |
| | | 過去の研修述べ参加人数（年度ごと） | 長野県指定<br>【令和5年】 修了者 65名<br>【令和6年】 修了者 46名 | | |
| 連絡先等 | | 申込・資料請求先 | 事業所名称 | 株式会社日本教育クリエイト<br>三幸福祉カレッジ長野事務局 | |
| | | | 住所 | 〒380-0921<br>長野県長野市栗田2135番地<br>大成コートワンビル2階 | |
| | | | 電話番号 | 026-267-5506 | |
| | | | FAX番号 | 026-267-5510 | |
| | | 法人の苦情対応者名・役職・連絡先 | 担当者・役職 | 部長 福間真理子 | |
| | | | 連絡先 | 052-589-9321 | |
| | | 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 | 担当者・役職 | 中本 信香 | |
| | | | 連絡先 | 026-267-5506<br>【営業時間】<br>平日9:00～17:00、土日祝休み | |
| 協力実習機関の名称・住所等 | | （実習先一覧表参照） | （別紙6） | | |

# 株式会社日本教育クリエイト介護職員初任者研修（通信）学則

（事業者の名称・所在地）

第１条　本研修は、次の事業者が実施する。

株式会社　日本教育クリエイト

東京都新宿区西新宿１－２３－７　新宿ファーストウエスト

代表取締役　鳥居　敏

〈長野事務局〉

長野県長野市栗田 2135 番地　大成コートワンビル 2 階

〈講義・演習会場〉

長野東口教室（第 1 回・第 3 回・第 4 回・第 6 回・第 9 回・第 11 回・第 12 回・13 回）

長野県長野市栗田 2135 番地　大成コートワンビル 2 階

松本教室（第 2 回・第 5 回・第 7 回・第 10 回・14 回）

長野県松本市中央 1-15-7　ハネサム松本 502 号

飯山市教室（第 8 回）

長野県飯山市大字飯山 1071 番地 2

飯山市起業支援センター（あすちゃれ）　研修室

〈連絡先〉

三幸福祉カレッジ　長野事務局

長野県長野市栗田 2135 番地　大成コートワンビル 2 階

０２６－２６７－５５０６

研修責任者　部長　　福間　真理子

研修担当者　　中本　信香

（目的）

第２条　高齢者の増大かつ多様化するニーズに対応した適切な介護サービスを提供するため、必要な知識、技術を有する介護職員の養成を行い、広く福祉社会に貢献することを目的とする。

（実施課程及び形式）

第３条　前条の目的を達成するために、次の研修事業（以下研修という）を実施する。

介護職員初任者研修課程（通信形式）

（研修事業の名称）

第４条　研修事業の名称は次のとおりとする。

三幸福祉カレッジ　介護職員初任者研修（通信）

（研修日程）

第５条　令和 5 年度の研修日程は別紙１のとおりとする。

（受講資格）

第６条　原則として長野県在住者で、介護職員初任者研修における知識・技術を習得することを目的とする者を受講対象者とする。

（研修参加費用）

第７条　研修参加費用は次のとおりとする。

（全納パターン）

| 内訳 | 金額 | 納付形態 | 納付期限 |
|---|---|---|---|
| 受講料<br>（テキスト代込・税別） | 45,000円 | 一括納入 | 受講申込確認書到着後10日以内 |

※事業者特別推薦申込者については別途個別に定める。

※飯山市教室については委託事業のためテキスト代 6,477 円(税別)のみ徴収

（使用テキスト名）

第８条　研修に使用するテキストは次のとおりとする。

介護職員初任者研修テキスト　　一般財団法人　長寿社会開発センター

（カリキュラム）

第９条　研修を修了するために履修しなければならないカリキュラムは別紙２のとおりとする。

（研修会場）

第 10 条　研修を行うために使用する講義及び演習会場は、別紙４・別紙５のとおりとする。

（担当講師）

第 11 条　研修を担当する講師は別紙１、別紙３のとおりとする。

（実習施設）

第 12 条　実習施設においては別紙６のとおりとする。

（受講手続き）

第 13 条　受講手続きは次のとおりとする。

（１）案内書に同封の受講申込み用紙に記入後、郵送又はファックス、もしくはホームページより申し込みを行う。→事前に通学講習の希望会場・希望日程の空き状況の確認を行うことも可能。
（２）申し込みをもとに、受講受け入れ可能者に対して①教材②受講料振込案内文を送付。（８日以内に教材等返却の場合は申込解除とし、キャンセルができる）。

また、定員以上に達した場合は、受講条件を満たす申込者のうち先着順にて受講していただく。
（３）振込確認をもって受講手続きを完了とする。

（科目の免除）なし

（通信形式による学科実施方法）
第 14 条　通信形式については、次のとおり実施する。
（１）学習方法
全３課題の添削課題を提出期限までに提出することとする。
郵送又は持参により採点を行い理解度の達成をはかることとする。
合格点に達しない場合は、合格点に達するまで再提出を求める。
（２）評価方法
評価は１００点満点中７０点を理解度に達する基準点（合格点）とする。
（３）個別学習への対応方法
個別学習により生じる一人よがりや思い込みを防ぎ学習の内容をフォローするために、①課題提出時に同封できる質問用紙の用意と回答の対応　②課題採点返送時解説書の同封　③通学講習時の質問対応を行う。（但し、この場合授業開始前並びに授業終了後、通信教育部分での質問があるものが演習担当講師の学科対応可能部分に対して理解度の向上のための質問に限ることとし、この限りにない場合は①及び②での対応とする）

（修了の認定）
第 15 条　修了の認定は、長野県介護員養成研修指定要綱（要綱別表第２　長野県介護職員初任者研修カリキュラム）及び長野県介護員養成研修指定要綱（要綱別紙６　修了評価の取り扱い）により厳正に執り行い、修了認定会議で修了と認められた者とする。
（１）修了評価は筆記試験により行う。
（２）生活支援技術の習得状況については科目ごとに評価項目を設け担当講師が実習については、実習指導者が評価を行う。その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
（３）認定基準は次のとおりとする。
筆記試験は 70 点を合格点とする。理解度の高い順に A・B・C・D の４区分で評価した上で C 以上の評価の受講生は評価基準を満たしたものと認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い基準に達するまで再評価を行う。

筆記試験の評価基準

A＝９０点以上、B＝８０～８９点、C＝７０～７９点、D＝７０点未満

実技評価の認定基準

「こころとからだのしくみと生活支援技術」及び「実習」の中で、講師及び実習指導者により介護技術を習得したと評価されていること。

（研修欠席者の扱い）

第 16 条　理由の如何にかかわらず、研修開始から 10 分以上遅刻した場合は欠席とする。また、やむを得ず欠席する場合は必ず事務局へ連絡をする。

（補講について）

第 17 条　研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、受講会場の同期クラス他会場または次期クラスにて同科目の振替受講を受けることにより、科目履修完了とする。

振替の申し出は必ず事務局へ連絡をする。

振替受講に係る受講料は無料とする。

但し、補講を希望する者には協議の上 1 時間 3,000 円を徴収する場合もある。

（受講の取消し）

第 18 条　次の各号の一に該当する者は、受講を取消すことができる。

（1） 意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者

（2） 学習研修の秩序を乱し、その他の受講生としての本分に反した者

（3） 当社の定める受講料支払規定に反する者

（4） 当研修を通して介護職員としての資質に著しく欠ける者

（5） その他講師の指示・当校の規定に反し、改善を求めても改めない者

（修了証書等の交付）

第 19 条　第 15 条により修了を認定された者は、当社において長野県介護員養成研修指定要綱様式第 6 号に規定する修了証明書及び修了証明書（携帯用）を交付する。

（修了者管理の方法）

第 20 条　修了者管理については、次により行う。

(1) 修了者は修了者名簿に記載し、長野県で指定した様式に基づき知事に報告する。修了者名簿は永久保存とする。

(2) 出席状況、成績、受講者及び修了者に関する台帳に付いては、紙又はﾃﾞｰﾀにて検索可能な状態で管理をする。3 年以上は保存するものとする。

(3) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により有料にて再発行を行う。

（公表する情報の項目）

第 21 条　長野県介護員養成研修指定基準 14 に規定する情報の公表に基づき、当社ホームページ（**URL　http://www.nk-create.co.jp**）において開示する内容は、以下のとおりとする。

（１）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、代表者名、研修事業担当理事、取締役名）
研修機関情報（事業所名称、事業所住所、電話番号、理念、学則、研修施設、設備）

（２）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール、定員、指導者数、研修受講までの流れ、費用、留意事項、特徴、）、課程責任者（課程編成責任者）、研修カリキュラム（科目別シラバス、科目別担当教官名、科目別特徴）通信（科目別通信学習の内容及び時間、通信形式の教材・指導体制・指導方法・課題）修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修の基準）、講師情報（名前、略歴、現職、資格）、実績情報（年度ごとの過去の研修実施回数、過去の研修延べ参加人数）、連絡先等（申込・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

（研修事業執行組織）

第 22 条　研修事業は当社で行う。

（その他留意事項）

第 23 条　研修事業の実施に当たり、次のとおり必要な措置を講じることとする。

（1）　研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。

苦情対応部署：三幸福祉カレッジ受講生担当窓口　電話　026-267-5506

（2）　事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。

（本人確認方法）

第 24 条　本人確認の実施について次のとおりとする。

(1)本人確認の時期について

初回の講義時に本人確認を行う。

(2)本人確認の方法について

次の証明書の提出もしくは提示をもって本人確認を行う

戸籍謄本、戸籍抄本又は住民票の提出。

住民基本台帳のカード、在留カード、資格確認書、運転免許証、パスポート、マイナンバーカードのいずれかを提示。

（施行細則）

第 25 条　この学則に必要な細則並びに、この学則に定めのない事項で必要があると認められる時は、当社がこれを定める。

（附則）

この学則は令和 6 年 1 月 5 日から施行する。

この学則は令和 6 年 9 月 20 日から施行する。

この学則は令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

# 講　師　履　歴

| 氏名 | だんばら　みえ<br>檀原　美恵 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 平成25年7月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成12年3月30日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 介護業務全般 | 平成12年４月～平成19年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成19年10月～平成20年10月 |
| | 宅幼老所 | サービス提供責任者 | 平成20年11月～平成22年4月 |
| | 介護施設 | サービス提供責任者 | 平成22年11月～平成23年7月 |
| | 訪問介護 | 介護業務全般 | 平成23年10月～平成25年6月 |
| | 介護施設 | サービス提供責任者 | 平成23年10月～平成26年3月 |

| 氏名 | こさか　　み<br>小坂　あけ未 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 平成26年9月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 准看護婦免許取得 | 昭和63年8月10日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護・介護業務全般 | 昭和60年4月～昭和62年3月 |
| | 病院 | 看護・介護業務全般 | 昭和62年4月～平成元年2月 |
| | 病院 | 看護・介護業務全般 | 平成6年4月～平成13年8月 |
| | 介護施設 | 看護・介護業務全般 | 平成13年9月～平成22年7月 |
| | 病院 | 看護・介護業務全般 | 平成22年8月～平成26年5月 |
| | 介護施設 | 看護・介護業務全般 | 平成26年6月～平成31年3月 |
| | 介護施設 | 看護・介護業務全般 | 令和元年5月～現在 |

| 氏名 | はが　しゅうこ<br>羽賀　秀子 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 平成27年11月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 看護師 | 昭和59年5月25日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護師業務 | 昭和59年4月～平成4年4月 |
| | 市役所 | 非常勤看護師業務 | 平成6年4月～平成9年3月 |
| | 病院 | 看護師業務 | 平成25年3月～平成27年6月 |

| 氏名 | こばやし　あけみ<br>小林　明美 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 平成28年9月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 看護師 | 昭和57年4月27日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護師業務 | 昭和57年4月～平成7年3月 |
| | 介護施設 | デイサービス看護師業務 | 平成16年12月～平成19年3月 |

| 氏名 | 藤田（ふじた）　育美（いくみ） | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和元年10月～ |
| | 介護施設　介護支援専門員業務 | | 令和５年4月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成21年5月11日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成14年8月～平成16年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成16年9月～平成21年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成21年4月～平成21年11月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 平成21年12月～平成30年3月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 平成30年4月～令和２年6月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 令和2年8月～令和3年３月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 令和３年5月～令和4年10月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 令和５年4月～現在 |

| 氏名 | 大内（おおうち）　三和子（みわこ） | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和２年11月～ |
| | 介護施設　介護職 | | 令和５年1月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成23年4月6日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（訪問介護員） | 平成12年8月～平成21年8月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成21年9月～平成28年10月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（訪問介護員） | 平成28年11月～平成31年2月 |
| | 介護施設 | 介護支援専門員業務 | 平成31年3月～令和4年12月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 令和5年1月～現在 |

| 氏名 | 桑原（くわばら）　五樹（いつき） | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和２年11月～ |
| | 介護施設　介護職 | | 令和元年8月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成26年6月20日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成15年12月～平成17年6月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成17年7月～平成25年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成25年9月～平成26年2月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成26年10月～平成30年10月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 令和元年8月～現在 |

| 氏名 | 堀内（ほりうち）　ひとみ | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 平成３年４月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 看護師 | 昭和61年4月26日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護業務 | 昭和61年4月～平成元年3月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成元年4月～平成６年4月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成25年7月～平成31年3月 |

| 氏名 | こいわい　みく<br>古岩井　未来 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和6年2月～ |
| | 接骨院 | | 平成28年4月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 看護師 | 平成20年4月15日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成20年4月～平成24年3月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成24年4月～平成26年3月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成26年4月～平成28年7月 |

| 氏名 | のなか　きよみ<br>野中　清美 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和6年2月～ |
| | 介護施設　介護業務全般・介護支援専門員業務 | | 平成24年1月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成26年4月15日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成17年5月～平成20年8月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成20年9月～平成23年12月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般・介護支援専門員業務 | 平成24年1月～現在 |

| 氏名 | いしばし<br>石橋さやか | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和6年11月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 看護師 | 平成5年4月30日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成5年5月～平成8年7月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成9年10月～平成12年3月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成12年4月～平成18年6月 |
| | 病院 | 看護業務 | 平成24年4月～平成28年3月 |

| 氏名 | きむら　ともこ<br>木村　知子 | | |
|---|---|---|---|
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和6年5月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成24年4月5日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成24年5月～平成25年4月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（ユニットリーダー） | 平成25年5月～平成25年11月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（ユニットリーダー） | 平成26年1月～平成26年8月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（管理者兼務） | 平成26年10月～令和4年8月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（管理者兼務） | 令和4年10月～令和5年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般（管理者兼務） | 令和5年7月～令和6年2月 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 氏名 | 草野（くさの）　直生（なおみ） | | |
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和7年8月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成22年8月10日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成22年9月～平成23年11月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成25年1月～平成29年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 令和1年10月～令和3年7月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般(訪問介護員) | 令和3年10月～令和4年9月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 令和5年6月～現在 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 氏名 | 三澤（みさわ　よしみ）　好美 | | |
| 現職 | 名称 | | 開始年月 |
| | 日本教育クリエイト　非常勤講師 | | 令和7年8月～ |
| 資格 | 資格名 | 取得年月 | 取得機関 |
| | 介護福祉士 | 平成11年4月12日 | 厚生労働省 |
| 略歴 | 名称 | 業務内容 | 期間 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成11年4月～平成19年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 平成21年7月～平成31年3月 |
| | 介護施設 | 介護業務全般 | 令和1年5月～令和4年３月 |

【別紙1】

# 第7回　研修日程表　（松本教室　9月生　Cクラス）

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2026/9/11(金) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2026/9/18(金) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2026/9/25(金) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2026/10/2(金) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2026/10/9(金) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2026/10/16(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2026/10/23(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2026/10/30(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2026/11/6(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2026/11/13(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2026/11/20(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2026/11/27(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2026/12/4(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2026/12/5(土)～<br>2026/12/24(木) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2026/12/25(金) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

**第9回　　研修日程表　（長野東口教室　10月生　　Qクラス）**

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2026/10/5(月) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2026/10/7(水) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2026/10/9(金) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2026/10/12(月) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2026/10/14(水) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2026/10/16(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2026/10/19(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2026/10/21(水) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2026/10/23(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2026/10/26(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2026/10/28(水) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2026/10/30(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2026/11/2(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2026/11/3(火)～<br>2026/11/12(木) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2026/11/13(金) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

# 第10回　研修日程表　（松本教室　10月生　Qクラス）

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2026/10/20(火) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2026/10/22(木) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2026/10/27(火) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2026/10/29(木) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2026/11/3(火) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2026/11/5(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2026/11/10(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2026/11/12(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2026/11/17(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2026/11/19(木) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2026/11/24(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2026/11/26(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2026/12/1(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2026/12/2(水)～<br>2026/12/14(月) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2026/12/15(火) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

# 第11回　研修日程表　（長野東口教室　11月生　Aクラス）

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2026/11/8(日) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2026/11/15(日) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2026/11/22(日) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2026/11/29(日) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2026/12/6(日) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2026/12/13(日) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2026/12/20(日) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2026/12/27(日) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2027/1/10(日) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2027/1/17(日) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2027/1/24(日) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2027/1/31(日) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2027/2/7(日) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2027/2/8(月)～<br>2027/2/20(土) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2027/2/21(日) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

# 第12回　研修日程表　（長野東口教室　12月生　Qクラス）

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2026/12/7(月) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2026/12/9(水) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2026/12/11(金) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2026/12/14(月) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2026/12/16(水) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2026/12/18(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2026/12/21(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2026/12/23(水) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2026/12/25(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2027/1/11(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2027/1/13(水) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2027/1/15(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2027/1/18(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2027/1/19(火)～<br>2027/1/28(木) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2027/1/29(金) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

**第13回　　研修日程表　（長野東口教室　2月生　　Qクラス）**

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2027/2/8(月) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2027/2/10(水) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2027/2/12(金) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2027/2/15(月) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2027/2/17(水) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2027/2/19(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2027/2/22(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2027/2/24(水) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2027/2/26(金) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2027/3/1(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2027/3/3(水) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2027/3/5(金) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2027/3/8(月) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2027/3/9(火)～<br>2027/3/18(木) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2027/3/19(金) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。

【別紙1】

# 第14回　研修日程表　（松本教室　2月生　Qクラス）

| | 日付 | 時刻 | 時間数 | （通信）科目・細目 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 通信 | 通信 | 6 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援 | (1)人権と尊厳を支える介護 |
| | | | 1.5 | | (2)自立に向けた介護 |
| | | | 1 | 3.介護の基本 | (1)介護職の役割、専門性と他職種との連携 |
| | | | 1 | | (2)介護職の職業倫理 |
| | | | 0.5 | | (3)介護における安全の確保とリスクマネジメント |
| | | | 0.5 | | (4)介護職の安全 |
| | | | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携 | (1)介護保険制度 |
| | | | 3 | | (2)障害者総合支援制度及びその他の制度 |
| | | | 3 | | (3)医療との連携とリハビリテーション |
| | | | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術 | (2)介護におけるチームのコミュニケーション |
| | | | 3 | 6.老化の理解 | (2)高齢者と健康 |
| | | | 1 | 7.認知症の理解 | (1)認知症を取り巻く状況 |
| | | | 1 | | (2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |
| | | | 1 | | (4)家族への支援 |
| | | | 0.5 | 8.障害の理解 | (1)障害の基礎的理解 |
| | | | 0.5 | | (2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 |
| | | | 0.5 | | (3)家族の心理、かかわり支援の理解 |
| | | | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術 | (1)介護の基本的な考え方 |
| | | | 5 | | (2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解 |
| | | | 5 | | (3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解 |
| 1日目 | 2027/2/2(火) | 9:20～10:20 | | オリエンテーション | |
| | | 10:30～15:50 | 4 | 1.職務の理解 | |
| 2日目 | 2027/2/4(木) | 9:20～11:00 | 1.5 | 2.介護における尊厳の保持・自立支援<br>(面接指導　10分) | |
| | | 11:00～15:20 | 3 | 3.介護の基本<br>(面接指導　20分) | |
| | | 15:20～17:00 | 1.5 | 4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携<br>(面接指導　10分) | |
| 3日目 | 2027/2/9(火) | 9:20～12:40 | 3 | 5.介護におけるコミュニケーション技術<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | 6.老化の理解<br>(面接指導　20分) | |
| 4日目 | 2027/2/11(木) | 9:20～12:40 | 3 | 7.認知症の理解<br>(面接指導　20分) | |
| | | 13:40～15:20 | 1.5 | 8.障害の理解<br>(面接指導　10分) | |
| | | 15:20～17:40 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(12)死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護<br>(面接指導　20分) | |
| 5日目 | 2027/2/16(火) | 9:20～14:40 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(4)生活と家事 | |
| | | 14:50～17:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| 6日目 | 2027/2/18(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(5)快適な居住環境整備と介護 | |
| | | 11:40～15:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 15:50～18:00 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 7日目 | 2027/2/23(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:30～18:00 | 4 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 8日目 | 2027/2/25(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 11:40～18:00 | 5 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| 9日目 | 2027/3/2(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 10日目 | 2027/3/4(木) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 11日目 | 2027/3/9(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 | |
| | | 13:40～15:50 | 2 | | |
| 12日目 | 2027/3/11(木) | 9:20～11:30 | 2 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(13)介護過程の基礎的理解 | |
| | | 11:40～15:50 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 16:00～17:00 | (1) | (独自)実習オリエンテーション | |
| 13日目 | 2027/3/16(火) | 9:20～12:40 | 3 | 9.こころとからだのしくみと生活支援技術<br>(14)総合生活支援技術演習 | |
| | | 13:40～17:00 | 3 | | |
| | 2027/3/17(水)～<br>2027/3/29(月) | | 12 | 実習　(6時間×2日間) | |
| 14日目 | 2027/3/30(火) | 9:20～10:20 | 1 | 10.振り返り | |
| | | 10:30～11:30 | 1 | | |
| | | 11:40～12:40 | 1 | 修了評価 | |

| 時間割表① | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:40 |
| 4限目 | 13:40～14:40 |
| 5限目 | 14:50～15:50 |
| 6限目 | 16:00～17:00 |

| 時間割表② | |
|---|---|
| 区分 | 受講時間 |
| 1限目 | 9:20～10:20 |
| 2限目 | 10:30～11:30 |
| 3限目 | 11:40～12:40 |
| 昼休み | 12:40～13:30 |
| 4限目 | 13:30～14:30 |
| 5限目 | 14:40～15:40 |
| 6限目 | 15:50～16:50 |
| 7限目 | 17:00～18:00 |

※1時間毎に10分休憩を設ける。
※昼休みは60分とする。
　但し、6日目・7日目・8日目は7時限設定の為
　昼休みを50分とする。(時間割②参照)
※各科目の必要時間数によっては適宜休憩時間を
　設ける為、時間割表の時間に限らない。